

北

ものがたり

Treasures from across the Sea

● から ●
唐
企画展

Chinese Paintings

西

画

あつらへり遠方より来たる

in the Collection of the

Collection of the Kosetsu Museum of Art

東

あつらへり

南

香雪美術館の中国絵画

伝徐熙 梅鷲図(部分) 明時代(15、16世紀)

2023. 6.17(土) — 7.30(日)

◎休館日:月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

◎開館時間:10時~17時(入館は16時30分まで)

◎入館料:一般1200(1000)円、高大生700(500)円、小中生400(200)円

※()内は前売り(一般のみ)・20名以上の団体料金

◎主催:公益財団法人香雪美術館、朝日新聞社

中之島 香雪美術館

Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

夜間特別開館:[開催日]6月22日(木)、7月20日(木) [時間]10時~19時30分(入館は19時まで)



伝徐熙 蓮池水禽図のうち右幅 明時代(16~17世紀)



瑞々しく繊細な蓮の表情!



居士ならではの、凛々しいお顔!

重要文化財 因陀羅 維摩居士図 元時代(14世紀)

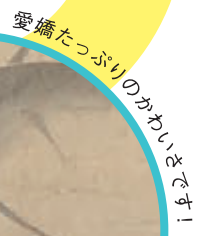


清楚で気品ある観音さま!

伝周文 白衣観音像 室町時代(15、16世紀)
伝銭舜举 魚籃観音図 明時代 正徳8年(1513)賛

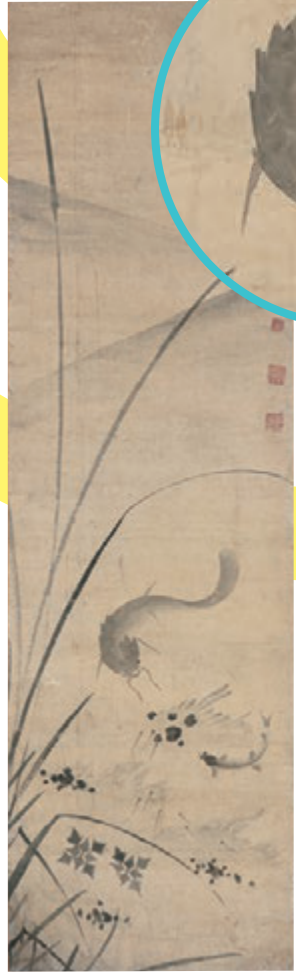


ようこそ、はるばる!



愛嬌たっぷりのかわいさです!

中国から海をはるばる渡ってやってきた絵画は、「唐絵」「唐物」として珍重され、鎌倉・室町時代以降は、寺院や将軍家、大名の床などを飾りました。朝日新聞の創業者で美術品コレクターでもある村山龍平(1850~1933)は、中国、朝鮮半島から日本にもたらされた絵画を収集していました。唐時代の禅僧である布袋、蜆子といった人物画、鸚や雉などの鳥や梅や牡丹といった植物を描いた花鳥画、風光明媚な山々や水辺に遊ぶ人物を表した山水画など多岐にわたります。村山コレクションの中国絵画は、江戸時代までに日本へ伝わった作品ばかりと考えられます。本展では、これまでまとまった形で展示されることがなかった香雪美術館の中国絵画を一挙に公開し、付属する鑑定書や墨書のある箱などとともに紹介します。さらに、日本の絵師たちが中国絵画を参考に描いた室町時代以降の作品も、あわせてご覧いただけます。



伝呂紀 花鳥図 明時代(16世紀)

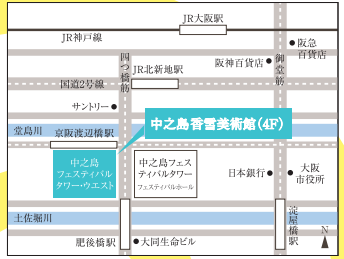
伝夏珪 蟹図・鯰図のうち鯰図 室町時代(15世紀)



伝蒋子成 松下布袋図 明時代(15~16世紀)

中之島香雪美術館

Nakanoshima Kosetsu Museum of Art



講師:板倉聖哲氏(東京大学東洋文化研究所 教授)
テーマ「唐絵」-中近世日本に伝来した中国絵画
日時:7月1日(土)14:00~15:30
講師:野田麻美氏(神戸大学大学院人文学部専任講師)
テーマ「イメージの増幅」-中国絵画と狩野派の場合-
日時:7月29日(土)14:00~15:30
会場:中之島会館(中之島香雪美術館隣)
参加料:500円(展覧会観覧には別途入館料が必要)
定員:120名(予定・先着順)

【応募方法】いずれかの方法でご応募ください。
◎ウェブサイト:当館HP上の専用フォームをご確認ください。
◎往復ハガキ:1通で2名様まで応募可能。①か②どちらを希望なのかと参加人数、それぞれの住所・氏名、年齢、電話番号を明記ください。返信ハガキの宛先には、代表者の住所・氏名をご記入ください。返信ハガキで参加証を郵送します。
【宛先】〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階 中之島香雪美術館「唐ものがたり」展 講演会係
受付開始 2023年4月29日(土・祝)

〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4
中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階
TEL:06-6210-3766
https://www.kosetsu-museum.or.jp/nakanoshima/
Twitter@kosetsu_museum
◎Osaka Metro四つ橋線「肥後橋」駅4号出口、京阪中之島線「渡辺橋」駅12号出口直結◎JR「大阪」駅桜橋口より徒歩約15分◎Osaka Metro御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」駅7号出口より徒歩約8分◎JR東西線「北新地」駅11-5号出口より徒歩約8分
次回の展覧会 茶の湯の茶碗-その歴史と魅力- 9月16日(土)~11月26日(日)